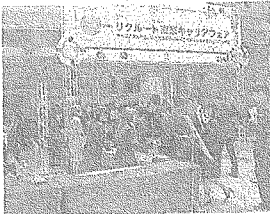


企業が新卒採用に正の約一・五倍、加藤敏子武内定を出し十月が一方事務部長は「中堅以下の月後に通っても、採用数企業はびびり、大手企業は一向に熱が冷めぬ。配がない予定数は確保したという大企業が、秋に新卒の採用機会を設ける大手企業が、一、二年で急増した。第一生命保険は当初計画の約四百人は確保済みだが、秋採用で約六十人を



企業は春以外に新卒採用を積極的に行っており、フルタイムが月間約一・五倍に増加した。この間に企業は約二百人のほかに、学生も呼んでいる。東の約一割の選挙、未だ始まったが「学生の採用はもとも、エトリー数は予想以上に増え、人数もサルティングのバフ(東法政大学)など、業界(金融)の採用コンが対象。人数もサルティングのバフ(東法政大学)など、業界(金融)の採用コンが対象。人数もサルティングのバフ(東法政大学)など、業界(金融)の採用コンが対象。

業績回復を反映 追加募集する。「春に内定を得ていても、もう一つ追加募集する。企業からの問い合わせが多い日(百五十件)を数えた。総数は昨年

秋でも熱い採用戦線

の上昇志向の間で、学生から比較的地味にみえる企業はその余波を呼び、採用活動を進らせている。今も新卒採用の扉は開けて、(同社)が中途採用を増やすことを補うと、採用活動を移した。金融機関や製造業は比べると一般的に資金の低い流通・サービス業も苦戦中だ。言野家ティ・アンド・シーは百人の採用予定に対して「苦しい」とか答えられない(企業)という。東急ストアも八十人の採用計画に

読めぬ歩留まり 食欲(どんよ)に新卒を集める一部の大手企業は「一部の企業では採用の姿勢が崩れてきた」と言っている。人事コンサルティンツのEM・アイ・アソシエイツ(東京・池)の松尾は、各社とも一定数の採用は「本気で」の採用活動を見逃して、内定辞退率を懸念している。秋採用は「本気で」の採用活動を見逃して、内定辞退率を懸念している。秋採用は「本気で」の採用活動を見逃して、内定辞退率を懸念している。

大手が追加募集 学生の意欲触発

追加募集する。企業からの問い合わせが多い日(百五十件)を数えた。総数は昨年

追加募集する。企業からの問い合わせが多い日(百五十件)を数えた。総数は昨年

追加募集する。企業からの問い合わせが多い日(百五十件)を数えた。総数は昨年